

2018年10月26日

各位

会社名 株式会社インフォメーション・ディベロップメント  
 代表者名 代表取締役社長 船越 真樹  
 (コード：4709 東証第1部)  
 問合せ先 社長室長 中谷 昌義  
 (TEL.03-3262-5177)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年4月27日に公表いたしました業績予想を、以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,700	570	570	280	25.46
今回修正予想 (B)	13,171	734	786	450	40.94
増減額 (B-A)	471	164	216	170	—
増減率 (%)	3.7	28.8	37.9	60.7	—
(2018年3月期第2四半期)	10,749	294	309	104	9.54

#### 2. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,300	1,480	1,500	780	70.91
今回修正予想 (B)	26,600	1,640	1,700	960	86.93
増減額 (B-A)	300	160	200	180	—
増減率 (%)	1.1	10.8	13.3	23.1	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	23,207	1,254	1,274	622	56.84

#### 3. 修正の理由

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績につきましては、堅調な受注環境のもと、売上高は前回予想を上回る水準で推移する見込みです。一方、利益面につきましては、本年1月に子会社化しました株式会社フェスの本社移転(2018年7月23日移転完了)や、前期のソフトウェア開発にかかるアフターコスト(製品保証引当金、注)の計上等の費用負担はあったものの、プロジェクト管理の強化による生産性向上や収益性改

善に向けた各種施策が効果をあげ、計画を上回る収益を確保することができ、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回発表予想を大幅に上回る見通しです。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績動向を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注)：製品保証引当金とは、前期に検収済の受託開発ソフトウェアに関して、無償保証契約や瑕疵担保責任などによって、当期以降に一定期間発生する保証費用に備えて計上される引当金のことです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想と異なる場合があります。

以 上